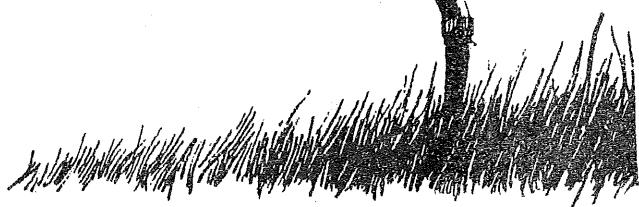
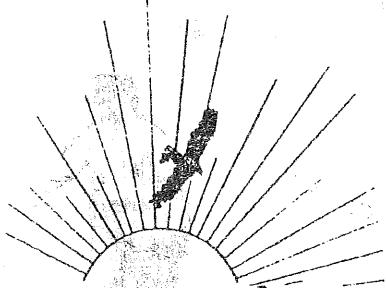


= 杉 8 だより =

団報

第 207 号

平成9年12月31日



ボーイスカウト東京連盟

杉並第8団

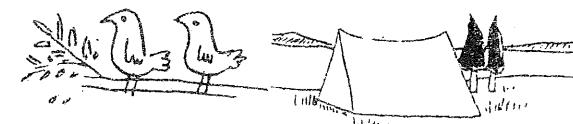
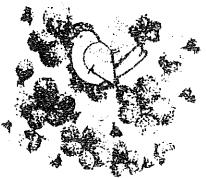
団委員会広報

団委員会

竹之内、赤城、野呂、加藤、高島、小畑、高橋

H. 9. 11. 29

- * 会計：来年度予算等について、討議。
- * 「30周年記念行事」について報告。（高島団委員より）
- * 各隊人事：各隊長了承し、副長の任命について各隊長に一任。
- * 来年のバザーの日程について：5月実施で場所等検討。
- * 予算／決算、活動報告／計画について年内に各隊提出、団委員会で承認し、来年1月の総会で決定。各隊人事についても、同総会で決定。



団会議 H. 9. 12. 6

竹之内、赤城、野呂、高島、高橋、山村、佐々木、高木、山口、大島、山中、阿出川、安沢、林、宮崎、天野、

- * 来年のバザーの日程：平成10年5月24日（場所未定）

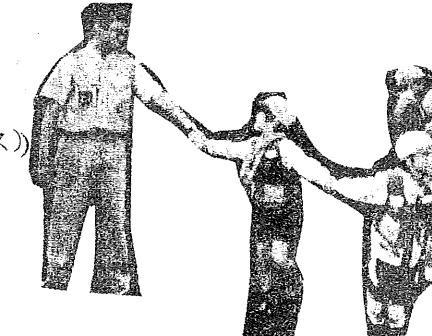
- * 友情交換会：平成10年12月20日

- * 育成会役員等についての考え方、山村育成会副会長より報告。

各隊報告

* BVS *

- 11/19 入隊式
- 11/19 地区ビーバー合同ハイキング（高尾山）
- 11/30 プログラム会議（12月ビーバーのクリスマス）
- " 年プログラム会議
- (予定) • 12/21 隊集会（上荻児童館）
- 1/18 上進・入隊式



* CS *

- 11/23、24 一泊キャンプ（大宮八幡）
- ポイントOL、野外料理、キャンプファイヤー他
- (予定) • 12/14 父母会
- 12/21 ユニセフ募金、くま追い出し集会。

* BS *

- 11/9 隊集会 老人ホーム「寿楽荘」奉仕、ハイキング。
- 11/15 GB会議
- 11/29 12月隊集会下見。
- 11/30 地区救急法講習会（リーダー1名、スカウト7名参加予定）
- (予定) • 12/4 隊集会 「野外料理」（青梅水の公園）



* SS *

- 11/16 隊集会（98年度年プロ作成）
- (予定) • 12/21 隊集会



* RS *

- 11/30 新旧リーダー会議

団委員会

H. 9. 12. 13

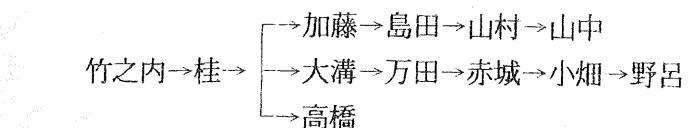
竹之内、赤城、野呂、加藤、桂、島田、高島、山村、高橋、

- * 決算説明（平成8年9月1日～9年12月31日）：承認

- 予算案説明（平成10年1月1日～10年12月31日）：承認

- * 新年度の各隊リーダー編成：承認

- * 団委員連絡網



- * 平成10年度 育成会総会／上進・入隊式／30周年記念式典／新年会
(オーピング・セレモニー)

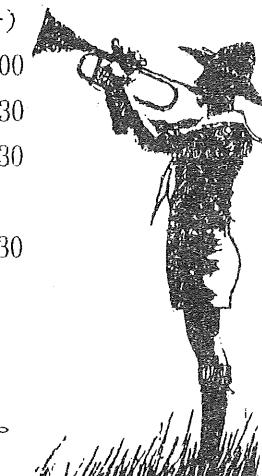
平成10年1月18日（日） (12:15集合)

・育成会総会：荻窪地区民センター 13:00～14:00

・上進・入隊式：桃二小学校体育館 15:00～16:30

・30周年記念式典：" 16:30～17:30
(オーピング・セレモニー)

・新年会：" トムソーサの冒険 18:00～20:30



- * 杉並地区20周年記念式典：平成10年3月22日（日）

杉並8団発30周年記念行事・海外遠征
インドネシア・キャンプ
H. 9. 12. 21 「参加説明会」実施

- * シニア隊・ローバー隊の30周年記念イベントとし、スカウト自身が企画に参画しインドネシアでのスカウティングと国際化を実体験する。

- * 平成10年3月14日（土）～3月22日（日）
(プログラム案) 3月14日 成田発 ジャカルタへ
15日 インドネシア連盟訪問、交流会
16日～20日 川下り等訓練、チーム毎自由研究、バリ島へ
21日 バリ島発 (23:30) 成田へ
22日 成田着 (8:30)

- * 現地での協力は、ボーイスカウトインドネシア連盟および在インドネシアの桜井 隆氏（8団OB、YKK勤務）[sakurai@rad.net.id]

- * 参加費用は、約10万円。

- * 計画人員はSSスカウト5名以上、RSスカウト5名以上、リーダー3名以上。



30周年記念行事企画委員会会議要旨

出席者：竹ノ内団委員長、高島団委員(30周年行事企画委員会委員長)、高橋団委員、山村育成会副会長、木村育成会副会長、林SS隊長、天野

場所：栄設計

日時：平成9年11月15日 20:00～23:30

各パート報告

* * レセプション(山村育成会副会長担当)

オープニングセレモニー 平成10年1月18日(日) 桃二小にて

育成会総会、上進・入隊式、記念撮影、新年会

レセプション 平成11年1月9日(土)または10日(日)

場所未定

1／18の件は、12／1にとれるかどうか判明する。(予約受付の関係)

当日、30周年記念品を配布する。(登録スカウト・リーダー全員)人文字を作り記念撮影を行う。(記念誌でも使用。)上進・入隊式の式次第、タイムスケジュールを至急詰める必要あり。そうしないと、全体のタイムスケジュールが見えない。育成会総会で1時間、上進・入隊式で2時間、記念撮影で30分から1時間程度かかる見込み。新年会は一旦帰宅後に2～3時間の予定。(トム・ソーヤの予定、高島団委員が予約確認。50人から60人程度で。…招待客は？ OBなどは？)

當日に新年会を開催する。30周年のオープニングセレモニーの一環として広く育成会員、リーダーなどに参加を呼びかけることとした。例年の内輪のものとは異なり、盛大なものとした。

* * 記念キャンプ(林SS隊長担当)

平成10年5月3日～5日 西湖畔 決定

5／4は、全体のプログラムとし、各隊独自の活動は5／2～3、5／5とする。

今後3月4月で1～2回の下見を行いたい。…なるべく各隊同時にまとまっていって欲しい。…
(高嶋委員長)

* * 根城探し(木村育成会副会長担当)

太田氏の那須の土地は×。

山梨県下部町にいい所があるらしいとの情報あり。近々に下見の予定。

荻窪近辺での倉庫、集会場所についても探しているが難しい。

営団地下鉄の荻窪駅事務所奥が使われていないようだが、何とか借りられないか。団舎としては最高だが…。

来年1年かけて見つけていくこととした。

* * 制作物(天野担当)

1. 記念品は、ウエストポーチに決定。上蓋に文字とマークを印刷する。そのデザインについては高島氏の原案を元に、麻生氏にデザインしてもらうこととした。1月のオープニングセレモニーで配布する。作製数は250とする。全登録スカウト・リーダーに配布。代金をその都度徴収は難しい

ので、オープニングの新年会から関係行事全てを網羅した30周年記念特別会計を別途組織し、その中で帳尻が合うように調整する方式としたい。

2. 8団マークの啓蒙については、ゴム印を作成する。…シャチハタのレギュラーサイズで作つたらどうか。隊長のサインと判とセットだと良い。どうせなら少しかっこよくしたい。原図がないので、麻生氏に少しリニューアルしてもらつたらどうか。…早速デザインを依頼(これも麻生氏に頼みたい)して作成し、1月に各隊に配布する。



タイムカプセルについては、埋める場所が問題。十日町の団との友好団としての縁組みをきっかけに記念植樹、ついでにタイムカプセル埋設も頼んだらどうか。或いは根城探しの下部町の方ではどうか。…今後の様子により決定。

団歌については、今回は見送りとしたい。

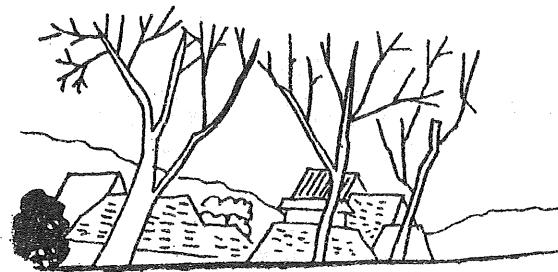
記念誌について、阿出川氏のレジュメを配布。基本的コンセプトのビジュアルなものという点について説明し、ご理解を戴く。予算面で考えると、印刷は難しい。従つてCD-Rでの発行が結果として認められた。編集方針については、編集長に一任とし他の人があまりとやかく言わないようにしないと大変である…(高橋団委員)との意見もあり、なるべく編集長の阿出川氏の意向を汲み、かつ経費のかからない方向で進めることとした。また、写真を中心とするが、写真代については各隊で負担戴くこととした。CD-Rの媒体調達と作成については団委員長の会社で実費にて請け負って戴けること。各隊に写真担当リーダーを任命して戴き、編集会議を頻繁に開催して進める。高島団委員、天野も全面的にバックアップする。発刊の時期は平成11年の春頃とする。予算は20万円を目処とし、最大30万円程度まで。カラー印刷のものを考えずにCD-Rでの発行であれば何とかなりそうではないか、との見通し。詳細は阿出川氏を中心に高嶋氏、天野で打ち合わせることとした。

その他、30周年を期にスタッフジャンパーなどの作成について希望があることについて検討。いくつかの選択肢を団会議で諮ることとした。

* * 緊急動議

アンケートでも多数あつたが、仲間を増やす、他の団体とのつながりを増やすと言った未来へ向けた観点から、十日町の団との姉妹団もしくは友好団の縁組みをしたらどうか。…全員一致で可決。

早速団委員長、佐々木BVS隊長、山口CS隊長などから声をかけてもらい進めることとした。



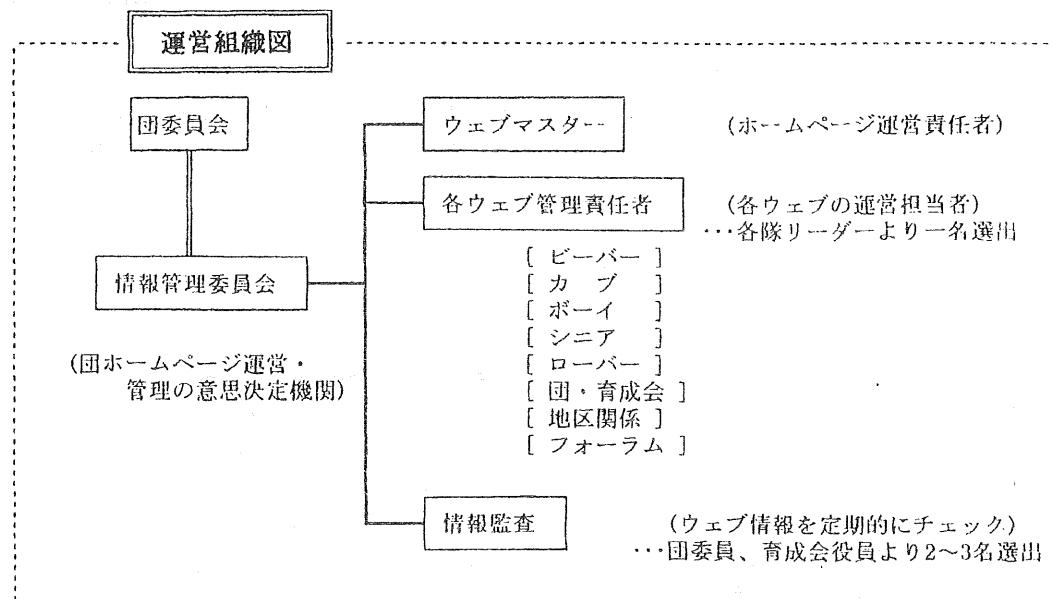
以上(文責:天野)





杉並八団ホームページ運営

*スカウト活動や団運営の一助として平成10年度より団公式ホームページをスタートするに当たり、運営規約を下記の通り定める。



1. 情報管理委員会 : [委員長] 団委員長
[委員] ウェブマスター
各ウェブ管理責任者
情報監査委員
- (1) 団ウェブの総括的な運営に関わる事項の決定
 - (2) 団ウェブ情報内容の基本スタンス調整
 - (3) 新規ウェブの登録、既存ウェブの変更・抹消
 - (4) メール等対外情報の内容検討
 - (5) 団ウェブ運営の予算・会計、庶務事項の協議



2. ウェブマスター
- (1) 団ウェブ全体の運営・管理を行う。
 - (2) プロバイダーとの契約変更等対外的事項の窓口
 - (3) ボイスカウト日本連盟や他の団・隊等との連絡
 - (4) 各ウェブ間の調整や全体のレイアウト等
 - (5) 受信メールの閲覧・管理を行い、委員会へ必要に応じ報告

3. 各ウェブ管理責任者
- (1) ボイスカウト活動並び8団の活動を目的としたホームページとして各ウェブの運営責任を負う。
 - (2) 各ウェブの情報内容については管理責任者のもと、原則自由とする。
 - (3) 各ウェブ内容をアップロードする場合の窓口とする。

4. 情報監査委員
- (1) 各ウェブの情報内容を適宜チェックし、画面上のトラブル等あれば各ウェブ管理責任者へ連絡、修正を求める。
 - (2) ボイスカウト活動において内容的に不適当と思われる場合、必要に応じ委員会で協議する。

以上

杉並障害者福祉社会館の運営協議会は毎年福祉展を主催しております。我が杉並8団も、毎年お好み焼きとか焼きそばとかソーセージとか、育成会の皆さん中心に模擬店を出し、障害者の皆さんに喜んで頂き、また、自分達も楽しませて頂いております。そのお礼の文です。

謹啓 爽秋の候、いよいよご清祥のこととおよろこび申し上げます。

また、日頃当運営協議会事業の推進に当たっては格別のご指導、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

去る10月18日・19の両日、平成9年度・第16回福祉展を無事開催できましたことも、偏に貴台を始め皆様方のご厚情とお力添えの賜物と深く感謝いたしております。

この後も、微力ながら障害者福祉発展のため努力いたす所存でございますので、何卒これまで同様ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

おわりに、貴台のご健康と益々のご盛栄を祈念いたしまして、福祉展終了のご挨拶とさせていただきます。 敬具

平成9年11月吉日

杉並障害者福祉社会館運営協議会

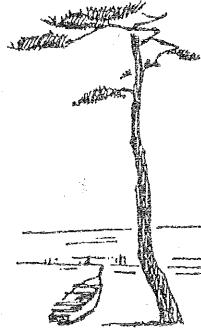
会長 金子久雄

日暮がんな窓く邪るだば
鍛今窓ちないるをらに習け成な
えのをたいる。開いか慣窓らん
て東開部のが顔け笑かがをなと
お京け屋で、色ていりつ大い言
くでに、たのお者やいきこつ
こは汚住空い青くにしてくと
となれん氣て白習ないい開がも
をかたでのいい價りがるけ多ス
忘な空い中は気が初、とて
れか氣るには分つ心鼻、寝のウ
な難をか体とのけ者風キるでト
いしらにん悪ばに邪ヤ。は、
よいにそ悪どそ、見をン暖家
うがだうい窓う風えひづかに戸
に、しなガをな邪もいにいい外
し普段のやけが引はスつこも寝
う。だ最たたかな力たろでな
ら、近こくないウ時できれ
体 每のとさく。ト風寝るれ

「スカウト急救法講習会」受講者 平成9年11月30日
スカウト：山中一樹、池田宏一郎、井川宗一郎、赤坂武昭、
土方誠、大島陽介、阿出川朋広、
リーダー：阿出川尚、

1998年に向けて 独り言

あせらず
おこらず
なげかず
あきらめず



過ぎた20年きょうの如し
雨あり風あり晴天あり
変わらぬ誠に感謝す
今日あり明日あり苦楽あり
喜びにあふれて生きて行こう
(元巨人軍の川上哲治氏が結婚20年目に奥様に打電した電報より)

くよくよせず、なにごとも楽天的に受けとめることだね。
気を揉んでみても、なにも解決しやしない。
「一回きりの人生」といっても、人生は一日一日の積み重ね、
「一日一日」を大切にすることだね。
今を大事にする、それを「令而」という。

今、紅白歌合戦が終りました。
「勇気、元気、チャレンジ」の垂れ幕。
これから、白山神社に向かいます。



「腑下の一点」「逃げたらあかん」

(文責: 高橋廉二)
(1997.12.31作成)

* 第12回日本ジャンボリー第2回実行委員会報告 (資料配付)

- ・ 次回実行委員会: H. 10. 2. 19 、 2月末に参加者数確定の事。
(注) 参加者数確定後、各団の調整。
班編成は沿線方式が多数意見。
- ・ 下見: H. 10. 4. 25~26、 東連の下見は平成10年6月。
- ・ 参加者輸送: コンテナー利用、出発1週間前積み込み。
- ・ 奉仕スカウトの募集
上班SS: 1名×3隊=3名、 隊付: SS or RS 2名×3隊=6名、
SHQ奉仕隊: 5名、 以上計14名。 (各団に割当て)
- ・ 参加費用
参加費用: 日連@25,000 + 東連@4,000 + 地区@3,000 = @32,000
往復交通費@48,000 (予定) スカウト参加費用=@80,000 (予定)
なお、成人指導者は地区と往復交通費は地区負担。